

自治労第5回現業政策集会 一分科会詳細一

清掃分科会

タイトル
清掃職場における災害対策 ～その課題と展望について～
開催趣旨
<p>近年、全国各地において甚大な被害を及ぼす災害が多く発生しています。昨年1月に発生した能登半島地震では、発災後、全国各地から清掃職員を含め多くの自治体職員が復興支援に駆けつけています。しかし、この間の合理化攻撃や採用抑制によって現場を熟知した職員の減少により、現地での的確な指示・命令系統が十分に機能・発揮できず、その結果、災害廃棄物処理の遅れ、また復興の遅延が生じるなど、支援・受援側ともに様々な課題が浮き彫りとなりました。</p> <p>私たちが働く清掃職場では、平時はもとより、非常時において廃棄物処理を確実に遂行するためにも、各自治体において災害マニュアルを作成し、被災した際の迅速で効果的な災害対応および、確実な災害復興支援が求められます。そのため、交渉においては災害時の直営職員の重要性を認識させ、新規採用や処遇改善を勝ち取っていかねばなりません。</p> <p>今分科会で、災害時における廃棄物行政を担っていくため、全国の清掃職場の仲間からこれまでの災害時の課題や先進的な取り組みを共有し、学び合う中から、これからの単組・職場での運動の前進につなげよう。</p>
講演者・報告者等
【講演】 河井 一広 さん（公益社団法人全国都市清掃会議 事務局長） 【単組報告①・パネラー】 松本 真実 さん（神奈川県本部 自治労横浜市従業員労働組合） 【単組報告②・パネラー】 調整中 （石川県本部 金沢市従業員労働組合） 【パネラー】 青木 慎吾 さん（兵庫県本部 神戸市従業員労働組合）
次 第
9：00 開会 あいさつ・趣旨説明 梶崎 宏達（本部現業評議会 副議長）
9：15 講演「全国都市清掃会議における 令和6年能登半島地震への支援について」 河井 一広 さん
10：15 質疑応答

- 10：25 休憩
- 10：40 単組報告①「大規模災害時の単組における支援報告1（仮）」
松本 真実 さん
- 11：00 質疑応答
- 11：10 単組報告②「大規模災害時の単組における支援報告2（仮）」
金沢市従業員労働組合
- 11：30 質疑応答
- 11：40 昼食休憩
- 12：30 パネルディスカッション・前半
「大規模災害時において発揮する清掃現場力」
コーディネーター：萩原 崇氏（本部現業評議会 常任幹事）
パネラー：松本 真実 さん、金沢市従業員労働組合、青木 慎吾 さん
- 13：30 休憩
- 13：45 パネルディスカッション・後半
- 14：45 まとめ
中川 純（本部現業評議会 清掃部会長）
- 14：59 団結ガンバロー
渡辺 智之（本部現業評議会 常任幹事）
- 15：00 閉会

学校給食分科会

タイトル
子どもたちのための「安全で安心な学校給食」をめざして ～子どもたちの未来にむけて、 オーガニック給食について給食調理現場から考える～
開催趣旨
近年、食に関する課題として遺伝子組み換えや表示偽装食材の問題、さらには残留農薬や食品添加物の問題が学校給食の提供にも影響をあたえています。改めて、現場の最前線で働く私たち給食調理員には、子どもたちに「安全で安心な学校給食」の提供が求められています。 最近では、国による支援の対象となったことにより、有機食品を使用したオーガニック給食に取り組む自治体は少しずつ増えています。この有機食品を使用したオーガニック給食は、子どもたちに「安全で安心な学校給食」を提供するだけでなく、生産から消費まで一貫した取り組みを地域で行うことにより「食育の推進」「環境負担の低減」「地域の活性化」などに通ずるものとされています。今こそ、再公営化にむけ「子どもたちの食の安全」と「私たちの職の確立」をめざし、給食調理現場からオーガニック給食について考えます。
講演者・報告者等
【講演】 山田 正彦 さん（弁護士・元農林水産大臣） 【単組報告】 江谷 英幸 さん（島根県本部 吉賀町職員労働組合 執行委員長） 小田 裕也 さん（島根県本部 吉賀町現業職員労働組合 執行委員） 岩成 達史 さん（島根県本部 吉賀町現業職員労働組合 前執行委員長）
次 第
9：00 開会 あいさつ・運営委員紹介 9：15 講演「給食現場からのオーガニック給食についての取り組み(仮)」 山田 正彦 さん 10：45 休憩 11：00 単組報告「吉賀町のオーガニック給食の取り組みについて」 江谷 英幸 さん、小田 裕也 さん、岩成 達史 さん 12：00 昼食休憩 13：00 グループワーク 「オーガニック給食について給食調理現場から考える」 14：30 グループワーク発表 14：55 まとめ 15：00 閉会

学校用務員分科会

タイトル
防災拠点として何ができるのか？ ～避難所指定である学校現場で私たちだからできること～
開催趣旨
<p>災害には事前の対策が重要であるため、普段からどのような準備をすれば防災・減災につながるかをテーマに分科会を開催します。</p> <p>避難所指定の学校が増加する中、防災施設として、いつでも避難所の役割を果たせる状態を維持しているか、また、どのようなものがあれば災害時に役に立つかなどを共有し、災害時における用務員のあるべき姿について考えます。</p> <p>災害時に避難所の開設や運営に携わった事例の報告を踏まえ、災害時に用務員がどのような役割を持ち、どのように動くかなどを事前に想定できるよう、「必ずいつか役に立つ時が来る」ということを前提に、具体的な議論を深めていきます。</p> <p>自然災害はいつ、どこで起こるかわからないため、災害時における用務員の役割を明確にした上で、用務員配置の有無の学校の課題を洗い出し、共有化することにより、今後の各現場での配置基準の見直しや適正化、さらに正規職員採用の道へとつなげていきます。</p>
講演者・報告者等
【講演】 高津 智子 さん（前 倉敷市立菌小学校校長）
【単組報告①】 森田 俊範（岡山県本部 岡山市現業労働組合）
【単組報告②】 荒木 善春 さん（愛知県本部 自治労名古屋市労働組合）
次 第
9：00 開会 趣旨説明
9：15 単組報告①「災害時学校支援チームおかやま養成講座に参加して」 森田 俊範
9：25 講演①「大規模災害の教訓 ～そのときの学校～」 高津 智子 さん
10：15 休憩
10：30 講演②「発災後の学校再開に向けて ～受援と支援を通じて考えたこと～」 高津 智子 さん
11：30 質疑応答
11：40 単組報告②「能登半島地震 職員派遣報告」 荒木 善春 さん
11：50 質疑応答

11：55 グループワーク説明

12：00 昼食休憩

13：00 グループワーク「災害前、災害時における用務員の役割について」

災害時に役立つ準備物や平常時にしておくべきことについて
みんなで考え、共通理解を図り、持ち帰って伝え行動に移そう。

14：30 グループワーク発表

14：55 まとめ

15：00 閉会

県職現業分科会

タイトル
県職現業の業務と果たすべき役割とは ～私たちは地域住民にとって重要な役割を担っている～
開催趣旨
県職現業が担っている業務内容は多岐に渡り、地域住民の生活に必要な業務を担っており、とりわけ災害時では道路管理者としての対応をはじめ、被災自治体への派遣対応など極めて重要な役割を果たしています。そのためには、提供体制の維持・拡充が重要ですが、各職場では多くの課題が山積しています。 課題の1つである高年齢者の働き方においては、職種によって業務量の調整が困難であるため、高年齢者への負担が大きいため、誰もが働き続けられるとともに、やりがいをもてる業務が求められます。 質の高い公共サービスの提供にむけ、県職現業が果たす役割を確実に実行するために技術の継承は必要不可欠であることから、すべての職種で新規採用を勝ち取るとともに、課題が生じている際は、再公営化にむけて新たな職域の拡大などの議論を行い、取り組みにつなげていきます。
講演者・報告者等
【講演①】 羽場 徹 さん（石川県本部 現業評議会特別幹事） 【講演②】 山野 大輔 さん（福岡県本部 福岡県職員労働組合）
次 第
9：00 開会 あいさつ 9：10 講演①「石川県現業職員協議会の取り組みと課題 ～ふるさと石川の創造的復興にむけて～」 羽場 徹 さん 10：10 質疑応答 10：30 休憩 10：45 講演②「社会情勢を捉えた業務見直しと新規採用の獲得」 山野 大輔 さん 11：45 質疑応答 12：05 昼食休憩 13：00 グループワーク①「災害について ～発災時における県職現業の役割について～」 13：40 休憩 14：00 グループワーク②「働き続けることができる職場環境について」 14：40 まとめ・報告 15：00 閉会

一般現業分科会

タイトル
職場の当たり前を疑ってみよう ～日常業務における心構えで職場を変えることができる～
開催趣旨
<p>職場環境に対して要望や改善点は数多くあります。毎日行う業務内容では慣れが生まれ、危険が潜んでいるにもかかわらず、「これが当たり前」「この手順で教えてもらった」などを理由に、十分に意識もせず、業務を行っていることも見受けられます。職場環境の改善にむけ、みんなが「物言える労働者」であれば良いのですが、実際は「物言える労働者」ではなく、「ただ働かされている人」になっているのではないかとという自問が必要です。</p> <p>業務内容の進め方、さらには業務のあり方に至るまで、日常業務において少しでも意識していけば、必ず職場環境の改善につながると考えます。日常業務に追われるとともに、月日を重ねる事により、薄れていくこうした意識を再び気付く方法として「職場の当たり前を疑ってみる」というのはいかがでしょうか。</p> <p>私たちの能力を最大限に発揮した上で、より付加価値の高いサービスの提供にむけ、日常で働く中で感じている自己犠牲や自己責任を洗い出し、自分自身をブラッシュアップしていきましょう。</p>
講演者・報告者等
【講演・助言者】 松上 隆明 さん（元 月刊労働組合編集長 ・ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構リサーチアソシエイト）
【コーディネーター】 和田 剛典（本部現業評議会 常任幹事）
【パネラー】 村上 貴志（青森県本部 黒石市職員労働組合） 赤津 誠二（茨城県本部 高萩市役所職員組合） 菊池 妙子（千葉県本部 流山市職員組合） 正本 堅士（兵庫県本部 神戸市従業員労働組合）
次 第
9：00 開会 9：15 講演「行き過ぎた行政改革がもたらした、 守られていない労働安全衛生の課題（仮）」 松上 隆明 さん
10：15 質疑応答 10：30 休憩 10：45 パネルディスカッション「それでいいの？ 見つめ直そう私たちの仕事」

現業職場では多岐にわたる職種がある中、職種や地域により、その違いはさまざまである。それぞれの職種、地域における現場での働き方や労働安全衛生に関わる事などを自由に共有・ディスカッションし、自らの現場に当てはめることで気付きを得よう。

コーディネーター：和田 剛典

助言者：松上 隆明 さん

パネラー：村上 貴志、赤津 誠二、菊池 妙子、正本 堅士

11：45 昼食休憩

12：45 ワールドカフェ形式のグループワーク

「ググって“ポリシー”、その意味は？」

各職場における課題などのテーマをテーブルごとに設定し、ワールドカフェ方式で席替えをしながら自由に話をする事で、柔軟な考え方へとつなげ、新たな気づきを持ち帰ろう。

14：30 発表

14：50 まとめ

15：00 閉会